

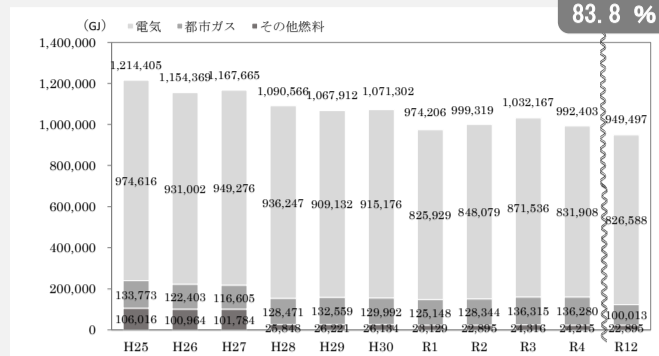
# 尼崎市環境マネジメントシステムに係る環境目標への取組状況（令和4年度実績）

～尼崎市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量・エネルギー消費量の現状と今後の見通しについて～

## I 環境目標の取組状況

### ① エネルギー消費量

#### 総エネルギー消費量



進捗率  
83.8%

	H25 基準年度	R3	R4	R12 目標年度
エネルギー消費量 (GJ)	1,214,405	1,032,167	992,403	947,896
前年度比		+3.3%	-3.9%	
基準年度比		-15.0%	-18.3%	-21.9%

#### ■ 現状・増減の理由

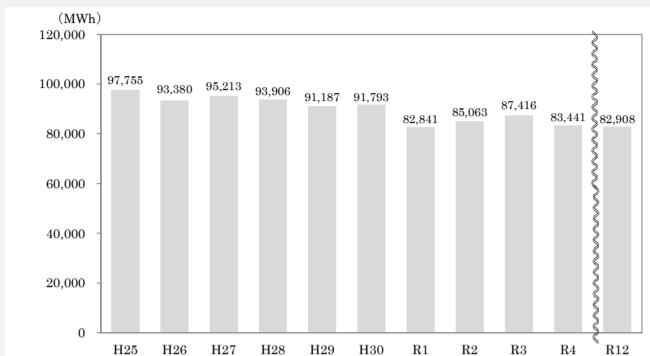
##### ① 総エネルギー消費量

- 総エネルギー消費量は 992,403 GJ となっており、前年度比 3.9% 減となりました。
- エネルギー種別では、電気使用量は 83,441 MWh で、前年度比 4.5% 減、都市ガス使用量は 3,028 km<sup>3</sup> で前年度から横ばいとなりました。

##### ② 電気使用量

- 電気使用量を施設区分ごとにみると、「クリーンセンター」と「下水道施設」が減少しており、「クリーンセンター」については、焼却炉の停止期間が短くなり、購入電力が減少したことにより、前年度比 23.3% 減となりました。「下水道施設」では、降雨が少なかったことに伴い、ポンプ稼働率が

#### 電気使用量



	H25 基準年度	R3	R4	R12 目標年度
電気使用量 (MWh)	97,755	87,416	83,441	82,747
前年度比		+2.8%	-4.5%	
基準年度比		-10.6%	-14.6%	-15.4%

- が低くなり、電力消費が少なかったことにより、前年度比 6.4% 減となりました。

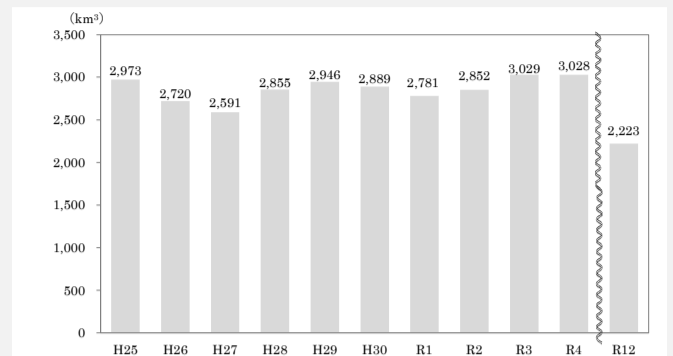
##### ③ 都市ガス使用量

- 都市ガス使用量を施設区分ごとにみると、「庁舎等」が減少しており、本庁舎の空調機改修工事に伴い、都市ガスを使用する空調機を停止したことにより、前年度比 9.2% 減となりました。一方、「クリーンセンター」では、前年度に比べて、焼却炉の立ち上げ回数が増加したため、ガス使用量が増加し、前年度比 50.4% 増加しました。

#### ■ 今後の見通し

- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類に引き下げられたことに伴い、感染対策として換気をしな

#### 都市ガス使用量

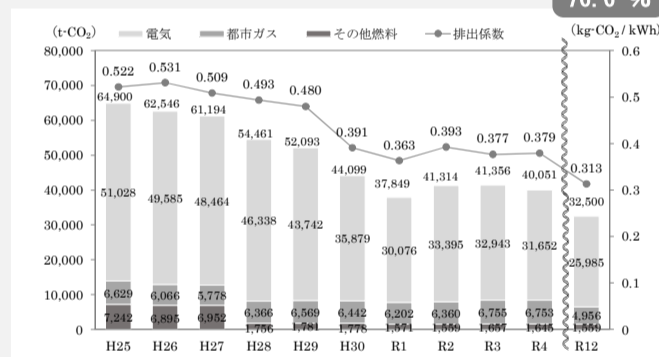


	H25 基準年度	R3	R4	R12 目標年度
都市ガス使用量 (km³)	2,973	3,029	3,028	2,223
前年度比		+6.2%	-0.03%	
基準年度比		+1.9%	+1.9%	-25.2%

- がら空調を使用するなどの措置は緩和することから、本庁舎など利用制限のなかった施設ではエネルギー消費量が減少することが見込まれます。

- 一方で利用制限等のあった施設などでは、エネルギー消費量が增加することが見込まれます。
- 本庁舎では北館の変電設備の改修を令和 5 年度から実施する予定であり、エネルギー消費量の減少が見込まれます。
- 東部浄化センターを始め多くの施設における改修工事によって LED 導入等が進められており、エネルギー消費量の減少が見込まれます。
- アルカイクホールの移管によるエネルギー消費量の増加が見込まれています。

### ② 二酸化炭素排出量



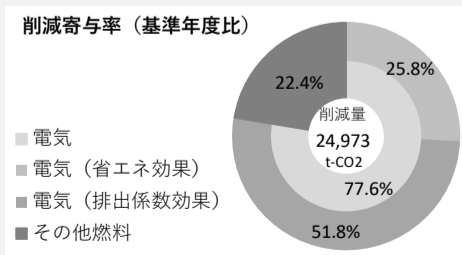
進捗率  
76.6%

※平成 27 年度まで（電力自由化以前）は関西電力の排出係数を使用

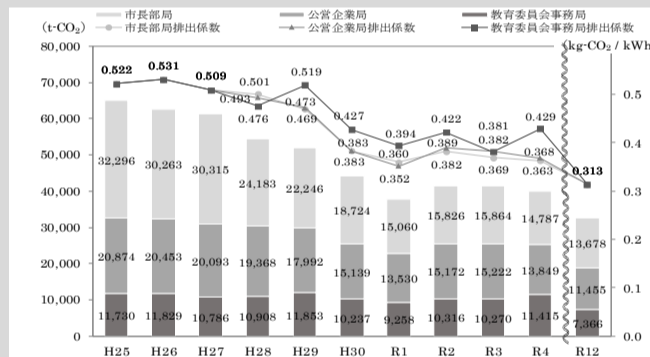
	H25 基準年度	R3	R4	R12 目標年度
二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	64,900	41,356	40,051	32,450
前年度比		+0.1%	-3.2%	
基準年度比		-36.3%	-38.3%	-50.0%

#### ■ 現状・増減の理由

- 本市の事務事業に伴う CO<sub>2</sub> 排出量は 40,051 t となっており、前年度比 3.2% 減となりました。これは、主にエネルギー消費量の減少が要因となっています。
- CO<sub>2</sub> 排出量に影響を与える電力排出係数は平均で、0.379 kg-CO<sub>2</sub>/kWh となっており、前年度比 0.7% 上昇しました（令和 4 年度の電力排出係数が公表されていないため、令和 3 年度の実績を基に算出しています）。
- 令和 4 年度の CO<sub>2</sub> 排出量は基準年度比 38.3% 減となっており、そのうち省エネ対策が 25.8%、電力排出係数対策が 51.8% を占めています。



### 特定事業者別二酸化炭素排出量



	H25 基準年度	R3	R4	R12 目標年度
市長部局 (t-CO <sub>2</sub> )	32,296	15,864	14,787	13,678
前年度比		+0.2%	-6.8%	
基準年度比		-50.9%	-54.2%	-57.6%
公営企業局 (t-CO <sub>2</sub> )	20,874	15,222	13,849	11,455
前年度比		+0.3%	-9.0%	
基準年度比		-27.1%	-33.7%	-45.1%
教育委員会事務局 (t-CO <sub>2</sub> )	11,730	10,270	11,415	7,316
前年度比		-0.5%	+11.1%	
基準年度比		-12.4%	-2.7%	-37.6%

進捗率 (CO<sub>2</sub>)  
94.0%

#### ■ 市長部局

- 令和 4 年度の CO<sub>2</sub> 排出量は 14,787 t であり、前年度比 6.8% 減となりました。エネルギー消費量は減少、電力排出係数も改善しました。
- 総エネルギー消費量の減少の主な要因は、本庁舎の空調機改修工事によりエネルギー消費量が減少したためと考えられます。

進捗率 (CO<sub>2</sub>)  
74.6%

#### ■ 公営企業局

- 令和 4 年度の CO<sub>2</sub> 排出量は 13,849 t であり、前年度比 9.0% 減となりました。エネルギー消費量は減少、電力排出係数も改善しました。
- 総エネルギー消費量の減少の主な要因は、降雨が少なかったことにより、電動ポンプ稼働率が低下し電気使用量が減少したためと考えられます。

進捗率 (CO<sub>2</sub>)  
7.1%

#### ■ 教育委員会事務局

- 令和 4 年度の CO<sub>2</sub> 排出量は 11,415 t であり、前年度比 11.1% 増となりました。エネルギー消費量は増加、電力排出係数は悪化しました。
- 総エネルギー消費量の増加の主な要因は、学校園での暑さ・寒さ対策における空調使用量の増加により、通年で電気使用量が増加したためと考えられます。